

京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の 活用の検討に向けたサウンディング型市場調査の結果について

令和8年8月
総合企画局

1 はじめに

- 京都市大学のまち交流センター（以下「キャンパスプラザ京都」という。）は、平成12年に「大学のまち京都」のシンボル施設として開館し、大学間、更には大学と産業界、地域社会との連携及び交流を促進する拠点として、大学関係者や学生をはじめ、市民の皆様に御利用いただいています。
- 一方で、開館から25年以上が経過し、設備面を中心に老朽化が進むとともに、コロナ禍を契機としたオンライン化の進展など教育環境や社会環境の変化により、利用状況も変化しています。

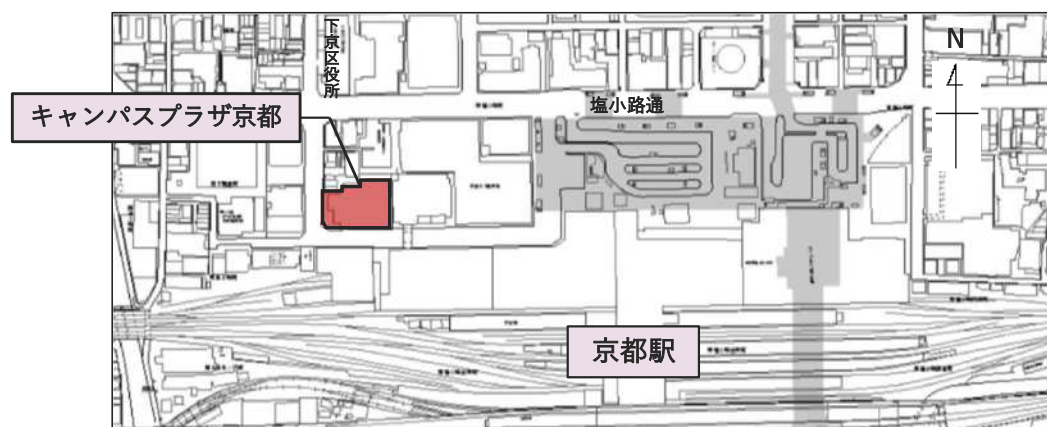
こうした中、「大学のまち京都・学生のまち京都」として更なる取組を推進するためには、大学連携拠点としての機能充実と付加価値の向上を図り、これからの時代にふさわしい魅力あふれる施設を目指していく必要があります。
- このため、令和7年度に、今後の施設のあり方を検討するため、大学や民間事業者等の参画意向やアイデアを幅広く募るサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を御報告いたします。

2 キャンパスプラザ京都の概要

(1) 施設概要

- ア 所在地 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939（京都駅から徒歩約5分）
- イ 開設時期 平成12年9月
- ウ 敷地面積 約2,633m²
- エ 延床面積 約11,677m²（地下1階～6階）
- オ 設置目的 大学における学術研究の成果その他の知的資産を活用することにより豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互の間及び大学と産業界、地域社会等との間の連携及び交流を促進する活動その他の活動の用に供するための施設
- カ 主な機能 貸室（講義室、演習室等）、学生交流スペース、大学院等共同サテライト、就職支援センター
- キ 指定管理者 公益財団法人大学コンソーシアム京都

(付近見取図)



(施設階別の主な構成)

6階	貸室（5室）、就職支援センター、大学院等共同サテライト（3室）
5階	貸室（6室）
4階	貸室（3室）
3階	放送大学京都学習センター
2階	貸室（5室）
1階	貸室受付、学生交流スペース、事務室、カフェ、駐輪場
B1階	駐車場

(2) 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数(人)	349,515	164,720	159,218	242,222	260,288	262,578	250,515
貸室稼働率(%)	66.3	55.0	45.4	52.4	49.7	48.9	46.5



外観



貸室（講義室）



貸室（演習室）



学生交流スペース（学生PLACE+）

3 サウンディング型市場調査結果の概要

(1) 提案募集期間

令和7年9月26日～11月25日

(2) 提案募集項目

- ・ 活用形態（現建物の賃貸借、購入、建替え）
- ・ 活用内容（具体的にどのような活用が可能か）（※）

（※）大学連携拠点としての機能充実につながるものや、大学・学生等との連携により相乗効果を発揮し、新たな付加価値を創出するもの、また、京都駅周辺の魅力向上への寄与が期待できるもの等とすること。

(3) 結果概要

ア 現地見学会参加事業者	2 1 事業者
イ 提案事業者	1 2 事業者 《内訳》 ① ゼネコン・ディベロッパー・設計事務所等 1 0 事業者 ② 学校法人 1 事業者 ③ コンベンション運営会社 1 事業者
ウ 活用形態	① 現建物の賃貸借 8 事業者 ② 現建物の購入 2 事業者 ③ 建替え なし ④ 未定 2 事業者
エ 活用内容	① オフィス、スタートアップ企業支援機能、学生×企業の共創空間 9 事業者 ② ホテル（留学生・研究者等向け） 3 事業者 ③ コンベンション施設 1 事業者 ④ 芸術・文化の振興や交流施設 1 事業者 ※ 複数の活用内容を提案している事業者があるため、提案事業者数と合計は一致しない。
オ 提案事業者からの 主な意見	・ 京都駅周辺はオフィス需要が高い。 ・ 建設費が高騰する中、学生×企業の共創空間のような収益性の低い活用や公共性の高い活用の場合、京都市による賃料の減免や整備費の負担軽減がなければ、事業成立は困難。

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を参考にしつつ、大学連携拠点として、これからの時代にふさわしい魅力あふれる施設を目指して、引き続き、今後のあり方を検討していく。